

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか		○		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	外階段には全段滑り止めを設置。夜間には足元が照らせるようソーラーライトを設置。また室内の階段についても、手すりを設置している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		業務終了後に職員間で情報の共有を行い、改善点などを出し合う。また、直接の話が難しい場合も、メモを残す等で、情報が伝わる様取り組んでいる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		年に1度行い、ホームページ上で公開していく事で、把握と改善に取り組んでいる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	年に1度行い、ホームページ上で公開していく事で、把握と改善に取り組んでいる。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	施設内での評価を行い改善に努めている。今後は第三者による業務改善にも繋げていきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		非常勤職員含め、定期的に研修会、内部研修会を行っていた。昨年度は研修会を行う日程が少なかつたため、今年度は力を入れていきたい。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			送迎時の申し送り等で、家庭での様子の聞き取りを行い様子を伺っている。そういった情報も元に個別支援計画の見直しも取り組んでいきたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			発達検査(WISC-IV)等を受けられた場合に、差支えなければ、検査結果のコピーを頂くなどお願いしている。また、各利用者様にはアセスメントシートをお配りし、お子様の情報提供をお願いしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		非常勤職員も含め、意見交換などを行い、常勤職員を中心に取り組んでいる。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		流行りものや、ニーズに合わせて活動の提案を行っているが、当てはまらない子に対し、次の提案が詰まってしまう点は改善したい。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	社会情勢も落ち着きが見えてきた為、季節に合わせた活動や、日々の課題設定に取り組んでいきたい。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者のニーズや、本人の目標達成に向かいつつ、寄り添った支援を行っている。その他、集団活動の機会も設け偏らないようにしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		送迎に関するの予定共有は、送迎表を通し行っているが、今年度はしっかりと流れを組み立て話したい。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		業務終了後には、必ず職員間のミーティングを行い、情報の共有に努めている。難しい場合には、メモを残すなど抜けが無いように取り組んでいる。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか			○	1日毎に業務日誌を記入。当日の活動などは、簡潔的に記入を行っている。 今後は改善点の提案等に繋げていきたい。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1度程度で面談の機会を設け、保護者との情報共有や、保護者支援にも繋げている。 知りえた情報はできる限りで職員間で共有し、目標設定を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		ガイドラインに沿った活動を行いつつ、新たな発見等が出来る様に支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議より要望があった場合、参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校の情報等は、各家庭を通し情報の共有を行っている。緊急の際には、学校と連携を図り情報共有を行っている。 必要事項、特記に関しては、保護者への連絡も行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		緊急時に備え、保護者を通し連携を図っている。 医師等との直接的なやり取りはあまりない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保護者を通し、情報の提供をお願いしている。 就学前の事業所や施設とは連携が取れていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		主に相談支援員を通し連携を図っている。必要に応じて当事業所から進路先への情報提供を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	今年度は、埼玉県発達障害支援専門研修等にも積極的な参加をし、専門性の向上に努めていきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		必要に応じて、交流の場を提供していきたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	当事業所でのボランティアの受け入れなども積極的に行っていきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		送迎時の申し送りや連絡帳を通し、情報共有を図っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		必要に応じて情報提供などをさせて頂いているが、すべてにお応え出来ているわけではない。 今後は研修等を通し、支援の幅を広げ、様々な視点で支援を行っていく。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		契約時に重要事項説明に基づき、説明を行っている。 また利用開始時にも、必要に応じて説明を行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった場合には真摯に対応している。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		月の最終日曜日に自由参加という形で機会を設けている。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速、真摯に対応している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		お知らせ等は配布出来ている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか		○		注意しているが、より一層どこに注意を向けられているか等職員間でも共有していきたい。
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			ICTを利用し配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		ボランティアの募集に努めている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアル作成を行っている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回災害訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に内部研修等を通し、虐待防止の研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			事故防止の為、緊急的に手を繋ぐ等の対応を行っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			配布しているアセスメントシートに基づき対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人内で共有している。また、事業所内で改善策を出し、考える機会も設けている。

○この放課後等デイサービス自己評価表は、放課後等デイサービスの事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。